

## 令和6年度 第3回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和6年11月26日(火) 13時30分から14時10分まで	
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室	
議題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会长 沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会长 馬淵 直樹
	委員	大垣市医師会副会長 竹中 清之
	委員	大垣市医師会理事 森 俊治
	委員	揖斐郡医師会会长 野田 宜輝
	委員	大垣歯科医師会副会長 北村 浩之
	委員	大垣市薬剤師会会长 松本 正平
	委員	大垣市教育委員会教育長 細江 敦
	委員	岐阜協立大学看護学部教授 神谷 真有美
	委員	西濃保健所長 河野 芳功
公開区分	公開	
傍聴人	なし	
概要	<p><b>1. 報告事項</b></p> <p><b>(1)定例報告事項</b></p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニック登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績について報告した。</p> <p>①紹介率……6年4月～6年10月:71.6%</p> <p>逆紹介率…6年4月～6年10月:140.5%</p> <p>②地域連携予約診案件数…6年4月～6年10月計:6,989件</p> <p>地域連携予約検査件数…6年4月～6年10月計:505件</p> <p>③開放型病床登録医数…6年10月末:162人(医科133人、歯科29人)</p> <p>開放型病床利用率…6年4月～6年10月:10.1%</p> <p>緊急緩和ケア病床利用率…6年4月～6年10月:0.0%</p> <p>④救急受診患者数…6年4月～6年10月計:20,535人(月平均2,934人)</p> <p>救急車利用件数…6年4月～6年10月計:6,042件(月平均863件)</p> <p>救急入院患者数…6年4月～6年10月計:2,071件(月平均296件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…6年4月～6年10月開催数:13回、院外受講者50人</p> <p>*病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会等、診療報酬に関する委員会等</p> <p>市民対象講演会等…6年4月～6年10月開催数:5回、院外受講者163人</p>	

	<p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…6年4月～6年10月登録総数413件 6年10月末時点でのパス開始からの登録総数:13,206件 ⑦OMNet利用状況…6年10月末時点の利用登録医療機関:132機関 診療情報閲覧に同意した患者総数:44,909人 ⑧地域の医療機関との連携相談実績…6年4月～6年10月計:7,497件 医療相談実績…6年4月～6年10月計:1,111件</p> <p>2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員) 逆紹介のところで、産婦人科の逆紹介率だけ半分近くに減少してしまっているのはどういった理由によるものですか。</p> <p>(事務局) 詳細な理由は分かりませんので、追って調査し報告します。</p> <p>(委員) 救急車の利用件数が去年に比べて減っています。下り搬送はある程度稼働していると伺っていますが、全体として救急車の台数が減っているのはどんな理由が考えられますか。</p> <p>(事務局) 他の病院に搬送される患者さんがそれなりにいるのではないかと思われます。病気の種類によっては他病院に運ばれる方がある程度一定数いるとは聞いています。しかし入院患者の数は逆に増えています。</p> <p>下り搬送に関しては、1ヶ月平均十数人程度行われており、ご協力ありがとうございます。</p> <p>(委員) 市民を対象にした講演会、市民向けのとても良いお話しだとは思いますが、院外の受講者がもう少しお越しただけるといいかなと思います。周知の方法とか今後工夫されるような事がありましたら教えていただけませんか。</p> <p>(事務局) 広報の場としては院内のポスター掲示と広報おおがきに載せて市民への周知をしております。学生さんにも興味を持っていただいて参加していただければありがたいです。医師会を通じてポスターを医師会の方に回したりする場合もあります。</p> <p>(2)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①令和6年度4月から10月までの患者さんからの電話予約実績は452件。地域別では大垣市の先生が約9割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約4割を占めており小児科、耳鼻咽喉科の順となっている。</p>
--	---

	<p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和 6 年度 4 月から 10 月まで 46 件。診療科別としては、皮膚科が 26.1%、糖尿病・腎臓内科、19.5%、循環器内科 17.4% となっている。</p> <p>2) 委員から、上記の報告について意見・質問はなし。</p> <p><b>2. その他</b></p> <p>(事務局)</p> <p>紹介していただいた患者さんがクリニックに戻ってこなかつたりとか最後どうなったか分からぬ患者さんの転帰調査をオンデマンド形式で始めさせていただきます。</p> <p>(委員)</p> <p>全体としてみるとやっぱり漏れがあるようですね、このような事をしていただけるとうれしいです。</p> <p>(委員)</p> <p>私のところは有床診療所で、市民病院から紹介を受けた方の最後の転帰を報告するようにしていますが、3、4 年経つと主治医の先生がいらっしゃらない。その場合でも書いた方がいいですか。</p> <p>(事務局)</p> <p>担当であった先生がいなくなった後も所属の方にはしっかりと届けられて、報告として確認していただくようにはなっております。必ずしも必要だという風に申し上げる訳ではありません。先生の方でご判断いただければと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>受診したかどうか分からぬ場合でも提出していいのでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>もし、受診されていない場合でしたら、受診された形跡がありませんという形でのお返事になります。</p> <p>(委員)</p> <p>令和 6 年 10 月から始まりました後発医薬品のある先発医薬品の選定療養について、大垣市民病院の場合は、院内に出す場合には先発品で出しても問題はないんですが、薬局に処方箋で来た場合、選定療養の場合、その差額をいただく事になっておりまして、それによって市民病院では逆に先発品が安く手に入ってしまいます。引き続き要望ですが、できるだけジェネリック医薬品を選定療養関係なく増やしていただきたいと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>後発医薬品の採用については順次すすめているという風に聞いております。</p> <p>(委員)</p> <p>結核検診の精密検査の事で、市町村がやっている結核検診で「要精密」と来ると、他の病院に行かれる方も多くて、その病院に聞いたところ選定療養の対象にすると</p>
--	---

	<p>言っていました。かといってがん検診も委託してその病院が受けていますが、がん検診の二次検査については選定療養費の対象にしていないとか、はっきりとした取り決めがされてないようですが、大垣市民病院は、例えば結核の精密検査については紹介状を持たずに行った場合はどのような対応になっておられるでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>厳密には分かりませんが、紹介状という形で結核について精密検査を行ってくださいというような書類が来ていれば、Dr.名が書かれているとか条件はありますが、そういうものであれば選定療養費の対象にしていないと思います。</p>
次回開催	令和6年度第4回委員会は令和7年1月31日に開催予定とする。

